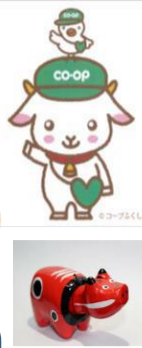


アルプス(ALPS)処理水海洋放出反対



署名(オンライン&署名用紙)

推進ニュース



みやぎ生協・コープふくしま

推進事務局 情報発信チーム

発行日 2021/12/15

No. 20

賛同署名総数は	104,493	筆 人 筆
12/14まで		
*オンライン署名	5,597	
*署名用紙署名	98,896	

<https://www.change.org/Save-the-Ocean-fm>



オンライン署名は右QRコードで直接 署名サイトへアクセスできます。
★オンライン署名と併せ署名用紙での署名も行っています。HPまたは事務局へお問い合わせ願います。

スマホはこちらから

◆全国の皆様ありがとうございます。

★12/14まで署名総数は**104,493** 筆となりました。

今後も署名の取り組みは継続していきます。引き続きよろしく願います。



○学習会で学びました。①

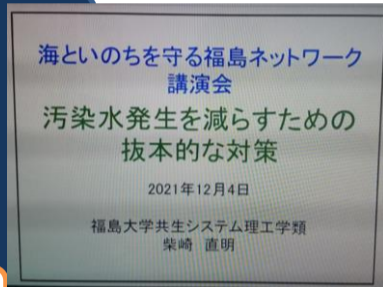
主催:海といのちを守る福島ネットワーク

■柴崎直明 先生 (福島大学教授) 講演会 :2021/12/4 :コラッセふくしま

「汚染水発生を減らすための抜本的な対策」

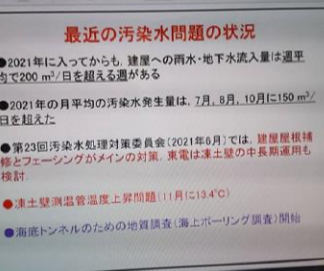
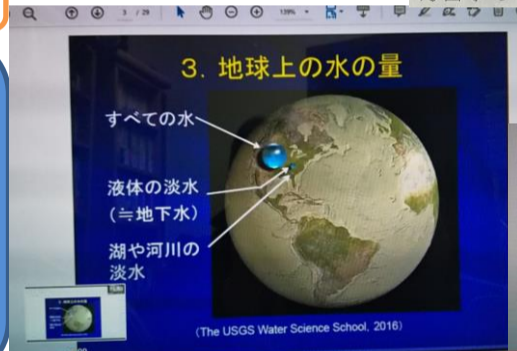
- 汚染水の問題を解決するために、汚染水をまず止めるということを研究している柴崎先生。海洋放出しかないという東電や政府の主張の誤りに迫りました。柴崎先生は福島県廃炉安全監視協議会専門委員(水文地質学)も務められています。

「廃炉作業が30~40年で終わるかかわからない。100年を超える視点で対策が必要だ」とも。



◇地球上の水は限られている

地球上の7割は海、と言っても実際は表面を覆っているだけで、地球上の海水を全部を集めても北アメリカ大陸の一部程度の量にしかありません。海洋水は深層循環しているため、プラスチックゴミを見ても分かるように日本のゴミははるかかなたで見つっています。トリチウムの海洋放出は一か所だけの問題ではありません。世界に広がる危険があります。過去の公害事例から健康被害や環境への影響を考え、濃度ではなく総量の限定が必要です。処理水を薄めれば流してもいいと言う問題ではありません。と強調されました。

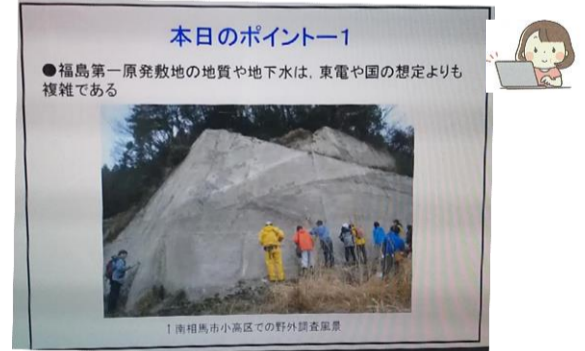


◇度重なる汚染水の漏洩

地盤がゆるいところにタンクを設置したため漏洩事故につながった不同沈下や、地下貯水槽から汚染水の漏洩が発生し周辺の地下水を汚染させるなど、汚染水問題が続発しました。東電や国が進めようとした汚染水対策は、地質や地下水の状況をしっかりと調査・把握せずに実施されたため、うまくいっていないと考えられます。地質・地下水を調べないと解決しないことから柴崎先生は原発団研(全国の地学研究者有志による福島第一原発地質・地下水問題団体研究グループ)を2015年2月に発足し調査を開始しました。

◇地質や地下水の把握が不十分だった汚染水対策

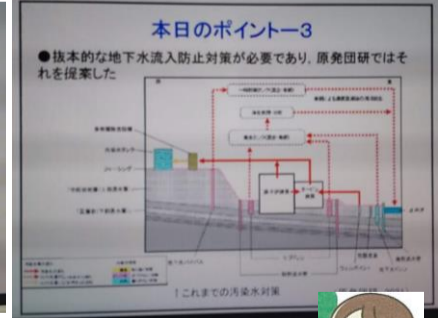
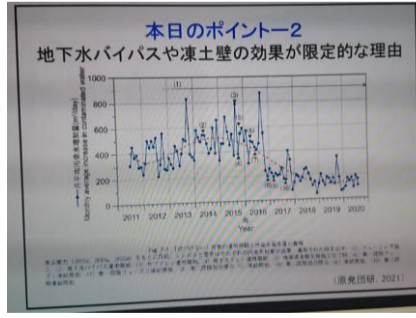
政府や東電は地中に凍土壁を作ったり、井戸(地下水バイパス)からくみ上げて建屋に入る地下水を減らす対策を講じてきましたが、流入は続いています。福島第一原発敷地の地質や地下水の流れが東電や国の想定よりも複雑な構造になっており、水を通しやすい地層の下限まで凍土壁が届いていません。また、地下水バイパスが設置されている場所は泥質層が多く地下水を通しにくいいため、水を十分にくみ上げられていないと思われます。そもそも凍土壁は一時的措置で、恒久的対応は検討する予定でした。とのこと。



◇汚染水発生の根本的原因是建屋への地下水流入

汚染水対策三原則

①汚染源を「取り除く」②汚染源に水を「近づけない」③汚染水を「漏らさない」。「近づけない」対策が適切に実施できれば汚染水の発生を抑制することができ、将来的には「取り除く」対策と「漏らさない」対策は必要なくなります。東電は原発敷地の地質や地下水の状況をほとんど把握していなかったため、地質や地下水の実態把握が遅れ、対策も後手に回りました。事故後、汚染水対策の切り札とされた地下水バイパスの効果はほとんどなく、陸側遮水壁(凍土壁)も、十分な地質調査や地下水の把握を行わないまま設計や施工が行われたため効果は限定的でした。と言われました。



次号につづく。
YouTube動画でも配信しています。「海といのちを守る福島ネットワーク」で検索
<https://www.youtube.com/watch?v=k2vXwtwMols>

<情報・お問い合わせ先>

みやぎ生協・コープふくしま 福島県本部内
「アルプス(ALPS)処理水海洋放出に反対する署名」推進事務局
〒960-8566 福島県福島市森合字清水7番地 コープふくしま いずみ店2F
Tel.024-557-1181 FAX557-5359 * mail :sn.f10243sn@todock.coop (根本)



<編集後記>erikoのつぶやき
◆コープみえさんから今年もいただきました『つながりカレンダー』。東日本大震災以降継続して作成いただき、今回で10作目。組合員さんや職員さんから寄せられたイラストはどれも想いの伝わる素敵な作品ばかりです。心のこもったメッセージに胸の奥がじんわりと温まり、離れていてもつながっている絆を感じます。

